

謹賀新年

菰野町長

諸岡 高幸

令和6年の新たな幕開けを祝し、
菰野町長 諸岡高幸より新年のごあいさつを申し上げます。

令和5年の一年間を振り返って

新年、あけましておめでとうございませう。本年も、よろしくお願いたします。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の位置づけが見直されたこともあり、三滝川燈火まつりや町民盆踊り大会、菰野町文化祭などの催しでは、多くの方でにぎ



▲文化祭には菰野藩土方大名行列に土方雄久役として参加し、4年ぶりに多くの人で賑わう様子が体感できました。



▲近鉄名古屋駅で開催された観光列車つどい「足湯列車」の出発式に参加し、出発を記念したテープカットを行った後、参加者の皆さんとともに乗車しました。

を児童手当基準内の中学生まで拡大しました。また、中学校の部活動においても地域移行に向け、地域の指導者の皆さまのご協力のもと、現在、環境整備に努めているところで

地域の皆さんと活性化を図る

今後、日本全体で問題視されている人口減少社会における影響は菰野町も例外ではなく、生産労働者人口の減少などへの対策は今、この瞬間から対策しておかなければならない問題です。人口も町の収



▲ガストロノミーウォーキングでは紅葉を楽しみながら8キロの行程を歩きました。

わう様子を見ることができました。また、記録的と言っているほど暑い日が続く、鈴鹿国定公園の豊かな自然の中での避暑を求めて多くの方に、来訪いただきました。11月には「ONSEN・ガストロノミーウォーキングin湯の山温泉」を開催し、企業や多くのボランティアスタッフの皆さまのご協力に支えられながら、参加者の皆さまに、美しい景観やおいしい料理など菰野町の魅力を堪能していただけたものと考えております。

最近では土曜、日曜、祝日のみの運行ではありますが、12月16日か

このまちの魅力ある要素を「点を線へ、線を面へ」とさらに繋いでいきたい

入も右肩上がりであった時代から移り変わり、現在は限られた収入の中で住民の安全安心な暮らしを確保し、課題を乗り越えていくことが行財政運営において求められています。生まれた環境で人生が左右されないよう子どもの貧困を防いでいく、幸福感をもって人生を終えることができるよう高齢者の豊かな生活を守っていく、そのためには、少しでも多くの事業を実現できるように、既存の組織を超えて連携できる体制づくりに臨み、菰野町の未来を切り拓いていくような司令塔となる組織を構築していかなければなりません。菰野町役場の組織改編に向けてコミュニケーションを重視しつつ、「組織は人なり」という思いのもと、よりよいまちづくりができる体系を模索してまいります。

このまちは、豊かな自然と都市圏からもアクセスしやすい立地に恵まれ、潜在的な高い魅力が備わっ

結びに、今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます、新年のあいさついたします。

「地域は家庭、町民は家族」の思いを胸に

